



# MORAMORA

マダガスカル通信 第10号（最終号） 2023年7月25日

## 知る・考える・マダガスカル！

Manao ahoana! 日本に帰国して約4か月。MORAMORA（のんびり）の精神でゆっくりと日本の生活になじんでいく…予定でした。ところが子どもたちがとっても元気な学校に異動になり、6年生の学年主任というおまけつき。MORAMORA と言っている余裕はなく、仕事に追われて FURAFURA になっております。

僕が協力隊に参加した最大の理由は、海外経験を日本の子どもたちに伝えるため。「知る・考える・マダガスカル！」と題し、このところ6週間に渡って学年の88人を対象にマダガスカルの授業をしてきました（実際の指導計画を次のページに載せます）。

まずは場所や人口など、マダガスカルという国について知ってもらうところから始め、ドミノで遊んだり、Namana という歌を合唱したり、Misao という麺料理を調理実習で作ったりしました。最終回は幸せの捉え方の違いについてみんなで考えました。世界にはいろんな文化や考え方があることを感じてくれていたらうれしいです。



ちなみにこの Misao、日本人にはなじみがないため残す子が続出するだろうな…と覚悟していたのですが、「おいしー！」と言いながら全員完食。実習のあと「家でも作りたいからもう一回作り方教えて〜」と何人か尋ねにきてくれました。とっても元気なものの、補って余りあるほどまっすぐでかわいらしい子どもたちです。

さて、MORAMORA 第1号で書いた通り、今後、協力隊を目指す方

に少しでも恩返しができるといいな〜と思い、月に一回のペースでマダガスカル通信を発行してきました。本来は活動が終わったら通信も終了だと思うのですが、帰国後の隊員活動の報告を兼ねて、今回、日本から最終号を送らせていただきました。これまで読んでいただいた皆様、永らくのご愛顧ありがとうございました。次は紙面でなく、対面で隊員経験のお話ができる機会があればうれしいです。

家で作ってくれた Misao。夏休みのキャンプでも作る予定だそうです。



## 「知る・考える・マダガスカル！」指導計画

時	日時	場所	テーマ・ねらい	主な活動
1・2	6/8 (木) 1時間目・ 15 (木) 1時間目	図工室	社会「マダガスカルふしぎ発見！」 ・マダガスカルの概要を知る。	・マダガスカルについて知っていることを発表する。 ・マダガスカルの場所や人口などをクイズ形式で知る。 ・マダガスカルで人気のゲーム・ドミノで遊ぶ。 ・教師のアンズズルベでの体験談を聞き、人々や町の実際の様子を知る。
3・4	6/21 (水) 4時間目・ 28 (水) 4時間目	図工室	音楽「マダガスカルの言葉・音楽」 ・マダガスカルの言葉と音楽を体験しながら知る。	・マダガスカル語のあいさつを知る。 ・マダガスカル語で自己紹介をする。 ・マダガスカルの歌・Namana を歌う。
5・6	7/7 (金) 3・4時間目	家庭科室	家庭「マダガスカルの料理」 ・マダガスカルの料理を体験しながら知る。	・マダガスカルの料理・Misaoを知る。 ・教師のアンズズルベでの体験談を聞き、Misao についての理解を深める。 ・Misao を作って食べる。
7	7/12 (水) 4時間目	図工室	総合「幸せって何だっけ？」 ・日本人とマダガスカル人の幸せの捉え方の違いについて考える。	・自分たちが何をしているときに幸せを感じるかを考える。 ・マダガスカルの子どもたちが何をしているときに幸せを感じるかをクイズ形式で知る。 ・日本人とマダガスカル人の幸せの捉え方の違いとその背景について考える。

### 長谷川 太郎

出身：大阪府 職業：小学校教諭

協力隊に参加した理由：帰国後、日本の子どもたちに世界のことを伝えるため。

隊次：2021年度1次隊 職種：小学校教育 任地：アンズズルベ

活動内容：5～6校の小学校を巡回し、各校の先生といっしょに算数、理科、体育などの授業を行う。

